

スタートしました。「戸倉しろやまテラス」 一度、おいで下さい。



戸倉東部自治会は市の西部「城山」をシンボルとし、由緒ある歴史を刻んできました。今春誕生した秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」は、戸倉が丘の再生・創生の目玉です。戸倉を語るキーワードは、青い目の人形・子供銀行・戸倉財産区・愛鳥モデル校・アートスタジオ五日市の版画等枚挙にいとまがありません。

特に、当センターをご紹介すると、旧戸倉小の宝「青い目の人形」の紙芝居を基に制作されたDVDは（当センター2階で視聴可）お客様から絶賛され

ております。

また、当センター内にジオパーク推進のための「秋川流域ジオ情報室」もスタート。更に、今話題の無人航空機「ドローン」の操縦者育成プログラムも開催されています。この様に、戸倉地区は、市の観光推進プランにおける観光振興の重点地区に位置付けられていることもあり、今後の活用の広がりを楽しみであります。

戸倉東部自治会会長 森田晃夫

自治会紹介 中村自治会

「三つの愛で安心・安全な地域づくり」



中村自治会には235世帯が加入しており、隣接する秋川橋河川公園にはバーベキューや川遊びで大勢の人が訪れます。

三つの愛「ふれあい・ささえあい・たすけあい」を掲げ、「安全・安心の集い」では「振り込め詐欺」寸劇や防災リーダー講話、留原駐在所員腹話術による交通安全講話、防災リーダーの「熊本地震に学ぶ」講話、災害に備える手作り映画を行うほか、防災訓練、防犯・見守り活動を通して地域の安心・安全に力を入れています。

どんど焼きや餅つき、300名を越える参観者を迎える文化祭などの親睦・文化行事では大きなコミュニケーションの輪が生まれます。

今年も幾重もの輪になって踊る盆踊りや自前模擬店などがたち並ぶ「納涼演芸大会」が近づきました。

今年から縁日「金魚すくい」も登場です。先人の知恵と勇気の「絆」バトン子どもたちの未来へしっかり繋いでいきます。「日々是好日！」

(記：7月7日七夕)

中村自治会会長 御法川 慎司

編集後記

“見て、読んでいただく”

このことを第一に、紙面づくりをしました。活字を少なくし、写真やイラストなどを多く活用することにより、興味を引き出せればと思っています。また、本号から町内会・自治会がより「絆」を大事にしていくことを強調したタイトルに変更しました。私たち会報部会のメンバーは平成28年度から2年間、会報の編集発行を担当することになりました。皆さんに“見て、読んでいただく”親しみのある会報づくりに努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

会報部会 山崎 勇

会報部会

木下 優
山崎 勇
杉本 秀志
高水 攻
佐藤 富治
宮田 信夫
栗原 伸泰

絆

あきる野市 町内会・自治会連合会会報 第29号

町内会・自治会

発行/平成28年8月31日 あきる野市町内会・自治会連合会会報 第29号 発行者/中村 勇 編集/あきる野市町内会・自治会連合会会報部会

平成28年度に向けて

「濫觴」(らんしょう)の心がけでコミュニティ活動の活性を

長い歴史の中で培われた住民自治の伝統や支え合いの精神に基づき、町内会・自治会が中心となり、地域コミュニティが形成され、地域の発展に寄与しております。しかしながら、近年、居住形態や生活様式等の変化に伴い、地域住民相互のつながりが希薄になり、地域コミュニティの活力の低下が危惧されています。

私共、町内会・自治会連合会には、市民生活の向上と福祉の増進に寄与するという連合会規約の精神を遵守して、時代を先取りした運営と安全・安心な街づくりを市と協働して取り組むことが求められています。

今年度から、既存の部会を整理し、新たに活性化部会を発足させ、各種団体との一層の連携を強化するなど活性化を図り、その結果が加入促進へとつながることを期待しています。

私たちが出来ることを一つずつ「濫觴」の心がけで進んで行きましょう。



連合会会長 中村 勇

花壇コンクール

(7月21日審査)

花壇の手入れは女性の活躍が目立ちます。



審査講評

花壇コンクールには、町内会・自治会から22花壇の参加があり、どの花壇も特色を活かし、デザインの工夫や色とりどりの美しい花を配置し素晴らしい演出をしていました。

審査に当たっては、花の生育状態、デザイン性、手入れの状況、取り組み姿勢について見ました。皆様の意欲的で心のこもった姿勢が感じられ、甲乙付けがたく難しい審査となりました。これからも明るい街づくりに寄与されることを期待したい。

あきる野市花いっぱい運動推進協議会 会長 網代和夫

審査結果

最優秀花壇	二宮町内会(東側)
優秀花壇	小宮町内会
	油平自治会
優良花壇	小中野自治会
	上代継町内会
	富士見台自治会
努力花壇	二宮町内会(西側)
	留原自治会
	雨間町内会
	平沢町内会

平成28年度あきる野市町内会・自治会連合会名簿

役職	氏名
会長	中村 勇
会長代行副会長	網代 和夫
副会長	神田 秀次
副会長	木下 優
副会長	武田 博行
副会長	山崎 勇
副会長	森田 晃夫
副会長	計 杉本 秀志
副会長	計 高水 攻
監事	田中 義夫
監事	峰岸 一男
書記	石原 繪哩子
書記	夏原 芳男
理事	秋山 進
理事	石川 浩平
理事	佐藤 富治
理事	宮田 信夫
理事	栗原 伸泰
理事	池谷 實

活性化部会	
部長	武田 博行
	神田 秀次
	森田 晃夫
	田中 義夫
	峰岸 一男
	石原 繪哩子
	夏原 芳男
	秋山 進
	石川 浩平
	池谷 實
報部会	
部長	木下 優
	山崎 勇
	杉本 秀志
	高水 攻
	佐藤 富治
	宮田 信夫
	栗原 伸泰

地区	No.	町内会・自治会名	会長氏名	地区	No.	町内会・自治会名	会長氏名	
東	1	雨間町内会	師清 史	増	43	山田下分自治会	小室 重三	
	2	野辺町内会	松下 昌則		44	山田中分自治会	岩 久 司	
	3	二宮町内会	杉本 秀志		45	山田上分自治会	青木 秀司	
	4	小川町内会	岸峯 正博		46	網代自治会	網代 和夫	
	5	小川東町内会	神田 秀次		47	新宿自治会	野崎 忠	
	6	二宮団地自治会	清水 敏夫		48	上宿自治会	大福 政弘	
	7	秋留台自治会	伊井 晴美		49	中平自治会	江波戸 秀夫	
	8	秋川ハイツ自治会	早川 義紘		50	大上自治会	夏原 芳男	
	9	平沢町内会	橋本 実		51	北伊奈自治会	橋本 孝次	
	10	大塚自治会	石関 京子		52	西伊奈自治会	田村 百蔵	
	11	屋城自治会	秋山 進		53	森ノ下自治会	成田 正明	
	12	前田自治会	宮崎 貴裕		54	横沢自治会	加藤 光生	
	13	緑の里自治会	華房 実		55	三内自治会	岡部 裕多察	
	14	ホームタウン秋川自治会	西尾 真		56	小机自治会	宮田 信夫	
西	15	上引田町内会	石川 浩平	五	57	東町自治会	安藤 卓	
	16	中引田町内会	佐藤 昭吉		58	下町自治会	石川 訓男	
	17	下引田町内会	池田 博		59	仲町自治会	佐藤 久仁夫	
	18	淵上町内会	橋本 久		60	小庄自治会	阿留多伎 潔	
	19	上代継町内会	木下 優		61	上町自治会	栗原 久敏	
	20	下代継町内会	中村 敏信		62	五日市入野自治会	沼田 隆治	
	21	牛沼町内会	小林 次摩朗		63	栄町自治会	小峰 敏明	
	22	油平自治会	中村 一広		64	小中野自治会	高嶋 忠勇	
	23	油平本町町内会	遠藤 利幸		65	小和田自治会	青木 次郎	
	24	富士見台自治会	石原 繪哩子		66	留原自治会	山崎 勇	
多	25	森山町内会	原 英夫	戸	67	中村自治会	御法川 慎司	
	26	高瀬町内会	浦野 治光		68	高尾自治会	高水 攻	
	27	草花町内会	塩野 立人		69	下館谷自治会	村野 良夫	
	28	折立町内会	田中 義夫		70	上館谷自治会	岸 義男	
	29	西ヶ谷戸町内会	佐藤 富治		71	小倉自治会	東深澤 吉晴	
	30	松山町内会	原島 直人		72	山下自治会	天野 一郎	
	31	草花台パークハイツ町内会	深見 明正		73	樽自治会	峰岸 一男	
	32	小宮久保町内会	小川 博昭		74	深沢自治会	澤入 昇	
	33	羽ヶ田町内会	加藤 征雄		75	戸倉東部自治会	森田 晃夫	
	34	小宮町内会	武田 博行		76	戸倉西部自治会	田中 春夫	
	35	瀬戸岡町内会	岸野 稜		77	落合自治会	萩原 泰壽	
	36	原小宮町内会	小柳 津茂		78	乙津自治会	浦野 龍治	
	37	菅生町内会	野口 金雄		79	青木平自治会	市川 肇	
	38	四軒在家町内会	坂本 和洋		80	軍道自治会	栗原 伸泰	
	39	尾崎町内会	浦野 知昭		81	養沢自治会	池谷 實	
	40	草花住宅自治会	嶺井 清祐		82	寺岡自治会	沖倉 優	
	41	プリティッシュタウン自治会	井上 十糸子					
	42	草花公園タウン自治会	島田 尚博					

「町内会・自治会に加入しましょう」の声をかけを

第6回防災コンクールの報告

子供・女性チームの活躍が印象的でした。



第6回防災コンクールは6月4日五日市小校庭で開催しました。今年から開催場所は各地区を巡回し行うことになり五日市地区で開催しました。参加チームは昨年より2チーム多い22チームが参加しました。市の提唱である「子供が主役のまちづくり」ということで、今年は増戸中ボランティア部から2チームが参加し、大会を盛り上げてくれました。又、全体的に技術がレベルアップし、見ごたえのある素晴らしい大会となりました。

結果は、1位は多西A、五日市B、増戸Cの3チームとなり、4位に五日市C、増戸Dの2チームが入り、以上の5チームが入賞しました。また増戸中ボランティア部は男子と女子の2チームが参加し特別賞に輝きました。また、女性チームが1位と4位に入り、これで3年連続女性チームが5位以内の入賞を果たしました。

あきる野市防災安心地域委員会 本部長 倉田克治

今年度も、各種イベントや事業に積極的に参加していきます。



少子高齢化社会を迎えた今、町内会・自治会活動もその影響が大きくなっています。しかし、町内会・自治会の存在が安心、安全で豊かな暮らしに必要なことも事実です。

今年度から加入促進、医療情報キットの2部会が統合され活性化部会となりました。活性化部会では、さまざまな課題について活発な意見交換をしています。各種イベントや事業も時代の変遷とともに、その目的やニーズも大きく変わってきています。

部会では、その変化に対応すべく取り組んでいるところです。今までの問題点や改善点をもう一度洗いなおし、これからの時代に合ったプランを提案していきます。最初から「できない」ではなく、「こうすればできる」という意識を持って取り組み、活性化につなげていきます。

今後とも、皆様のご指導・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

活性化部会長 武田博行

会員相互の絆を大切にしています。

女性の会長が増えました。

